

## 第3回

# 秋川高校跡地及び秋川高校跡地 周辺地区のまちづくりに向けた 有識者会議

令和6年 1月22日（月）



あきる野市  
都市計画課

## 次第

1. 前回の振り返り

2. 現況、課題、方針の流れの整理

3. 土地利用構想図（ゾーニング案）

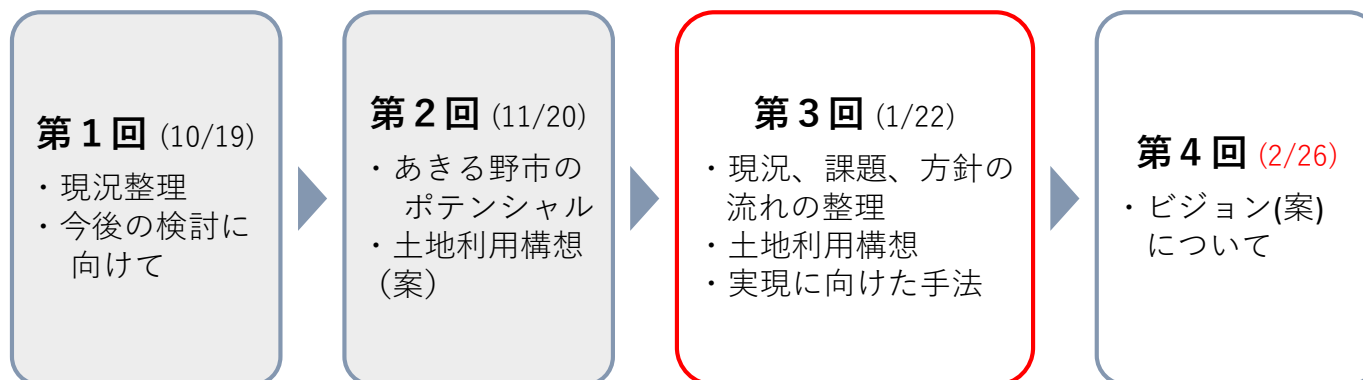
4. 意見交換

# 有識者会議メンバー・会議スケジュール

## ■委員（メンバー）

氏名	所属	職位
饗庭 伸	東京都立大学都市環境学部	教授
朝日 ちさと	東京都立大学都市環境学部	教授
遠藤 新	工学院大学建築学部	教授
下村 彰男	國學院大學観光まちづくり学部	教授
古屋 秀樹	東洋大学国際観光学部	教授

## ■スケジュール



# 1. 前回の振り返り

## 第2回有識者会議（11/20）で出された意見

### （1）検討区域のポテンシャルについて

- 需要に対する供給を考えた方が良い（憩い、農業、商業など）
- 地域にどのような人材がいるかなども把握すると良い
- 本地区のまちづくりの検討にあたり、現在立地している地区周辺の企業等に対し、意向調査を行ってみてはどうか

など

# 1. 前回の振り返り

## 第2回有識者会議（11/20）で出された意見

### （2）土地利用構想について

#### ① 将来像・まちづくり指針について

- サステイナブル、マネジメントを意識した企業誘致を行うべき
- 障がい者雇用を含めたインクルーシブな拠点形成など、当地区の特徴から「産業と福祉の共生」の観点が必要
- 観光的・商業的な農業の取り入れなど、「既存農地と産業の連携」の観点も必要
- 産業系土地利用を前提としつつ、農業と連携した新しいライフスタイルの提案ができると良い  
（例：農地付き住宅、里山付き住宅など）
- 住宅と産業の混合（ミックス）には、周辺との景観や環境上の配慮が必要。緑を活かしたゆとりある産業空間になると良い
- 秋川駅からの回遊性の考え方も盛り込めると良い

など

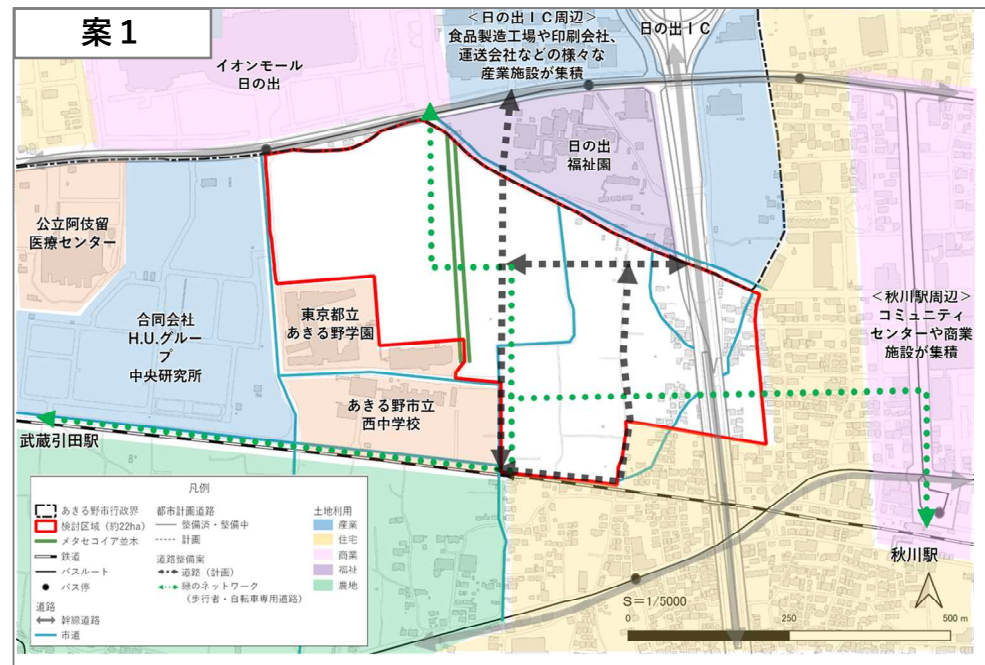
# 1. 前回の振り返り

## 第2回有識者会議（11/20）で出された意見

### (2) 土地利用構想について

#### ② 土地利用構想（ゾーニング）について

- 道路配置については、南北道路の整備をメインとした考え方が良い
- メタセコイア並木は分断しないことを前提条件とする
- 次回は「案1（メタセコイアを分断しない案）」をベースに、土地利用構想のパターンを検討するなど



## 2. 現況、課題、方針の流れの整理

第2回有識者会議の結果を踏まえ、  
検討区域の現況、課題、方針の流れを再整理しました。（別紙A3資料参照）

### 1. 地区の現況など

(1)地区（周辺）の現況・特性

(3)上位計画の位置付け

(2)近年の社会情勢

(4)市民意見

### 2. 地区のまちづくりの課題

(1)産業機能の必要性

(2)生活機能の必要性

(3)交流機能の必要性

### 3. 地区のまちづくりビジョン

(1) まちづくりの理念（①イノベーション、②インクルーシブ、③サステイナブル）

(2) 将来像 「（仮）住・農・産・商・福・学の機能が融合する集約型複合拠点地域の形成」

(3) まちづくりの方向性（①産業拠点の形成、②生活拠点の形成、③交流拠点の形成）

(4) 土地利用構想（ゾーニング図）

### 3. 土地利用構想図（ゾーニング案）

これまでの有識者会議での意見等を踏まえ、土地利用構想図（ゾーニング案）について、以下の3パターンを検討しました。

#### パターン① 産業メイン案

産業ゾーンを大きく確保し、既存住宅を集約化する案

#### パターン②③ 産業・居住バランス案

産業ゾーンと生活複合ゾーンをバランスよく配置する案

#### <前提条件>

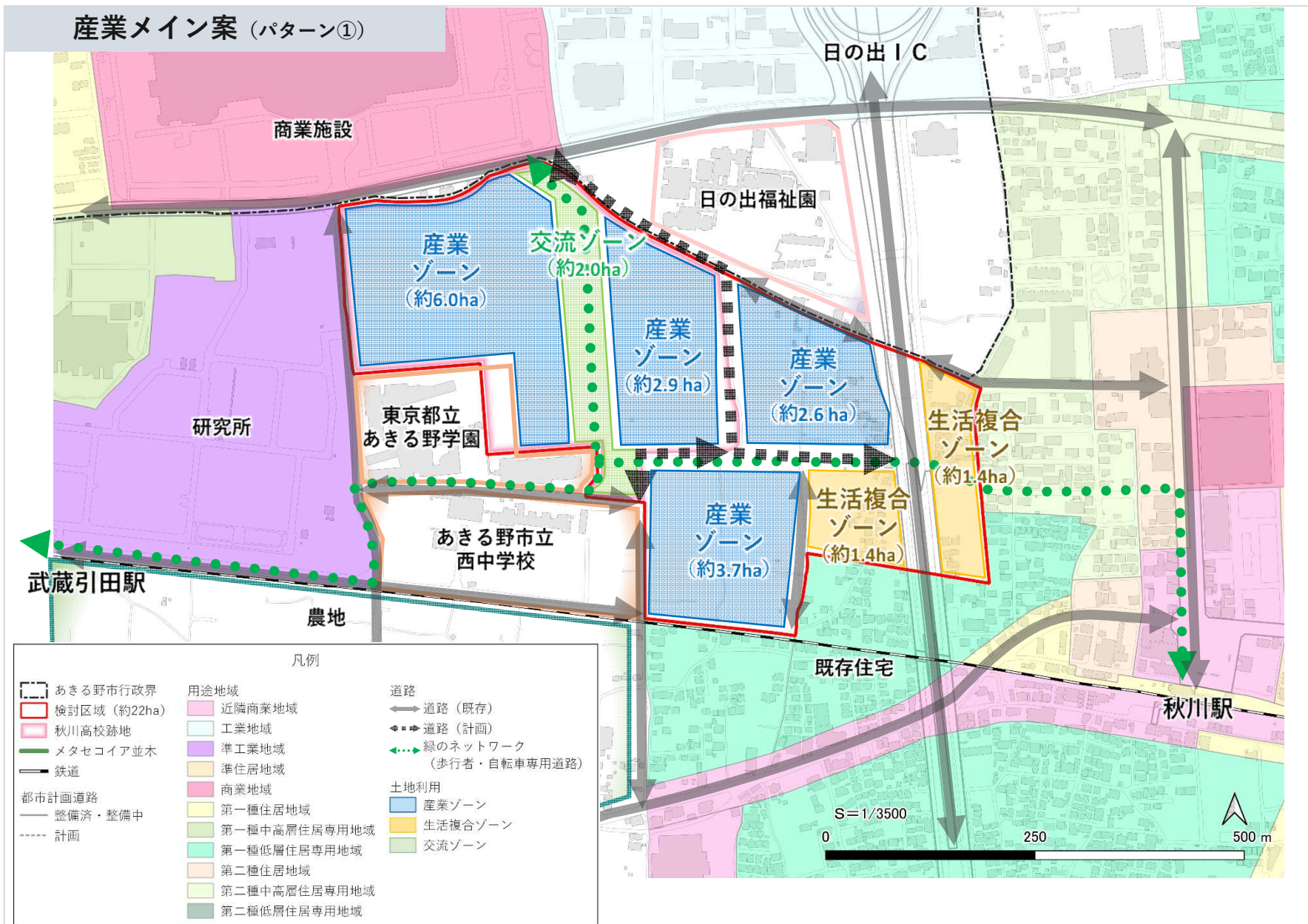
実現に向けた手法を考慮し、秋川高校跡地とそれ以外の地区の境界線をゾーニングの設定ラインとしています。





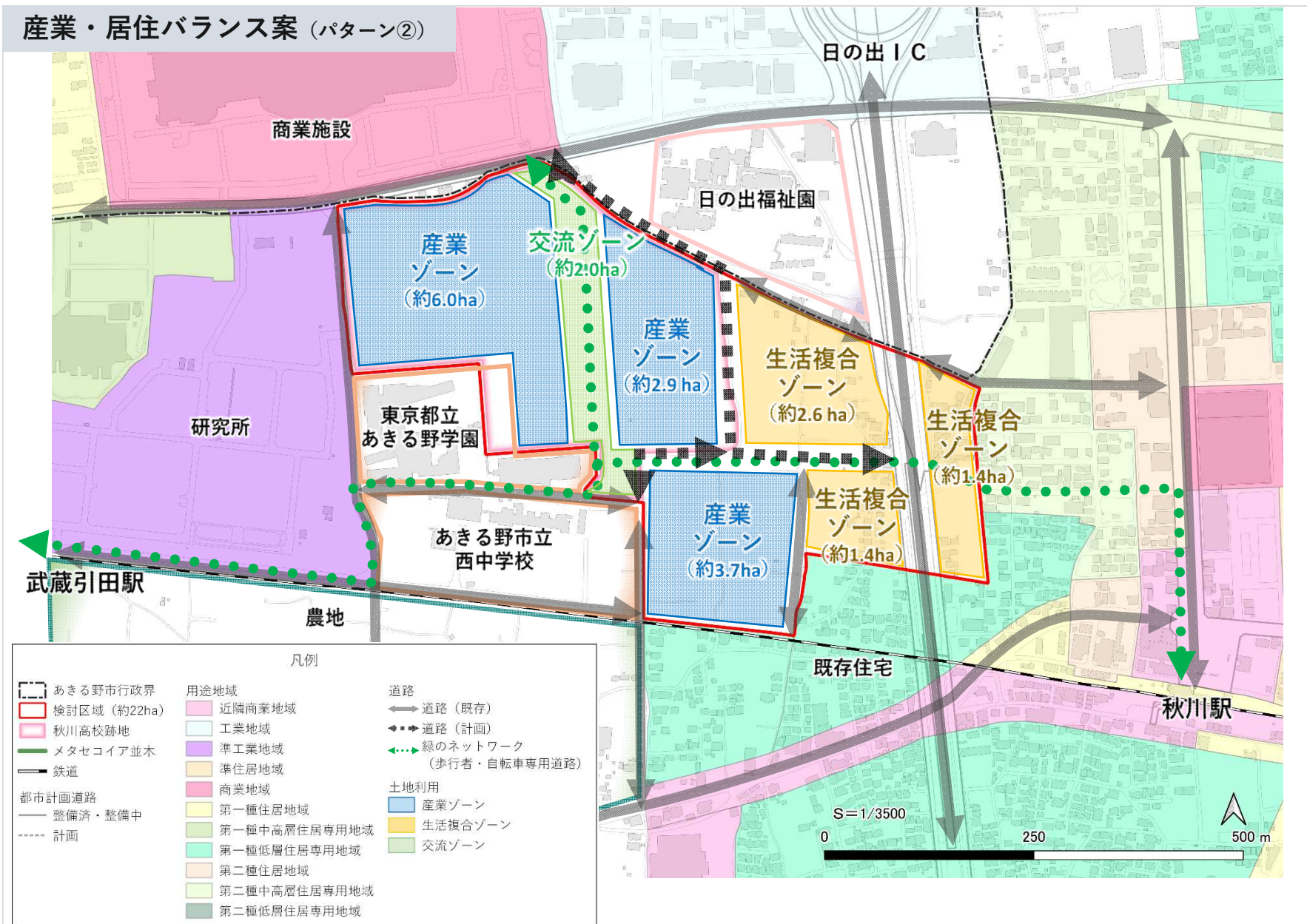
# 3. 土地利用構想

## 産業メイン案 (パターン①)



# 3. 土地利用構想

産業・居住バランス案 (パターン②)





# 3. 土地利用構想

産業・居住バランス案 (パターン③)

